

研究構想シート		学校名	出雲市立みなみ周夫学校
		氏名	吉田 修
<p>A 研究主題 主体的・対話的に学び、深め合う子どもの育成 ～ICT機器を効果的に活用した授業改善を通して～</p>			
<p>B 研究の目的 主体的・対話的に学び、深め合う子供を育成するための、ICT機器を効果的に活用した授業の在り方を明らかにする。</p>			
<p>C 子どもの実態</p> <p>○自ら課題を見つけ主体的に解決しようとする力は不十分。</p> <p>○筋道を立て、要点をとらえて相手に伝えることに弱さがある。</p> <p>○タブレットには興味・関心がありよく取り組む。しかし技術的な差はある。</p>	<p>E 手立て・内容（研究仮説）</p> <p>学習において、ICT機器を活用して、以下のような工夫を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入場面：「学習問題が具体的につかめる」「既習内容を思い起こせる」「課題追及の見通しが持てる」画像や動画の提示</li> <li>・追求場面：思考の活性化や判断につながる、ICTでの指示や説明 タブレットを用いた多様で効果的な表現 個人やグループの考えの効果的な提示 技能の習得・向上につながる、実験、運動、演奏等の録画</li> <li>・活用場面：練習問題や発展問題の効果的な提示</li> </ul>	<p>D めざす子どもの姿</p> <p>○自らの考えを言葉・図や資料・実物・ICT機器などを用いて、互いに関連付けながら、考えの理由や根拠もつけて分かりやすく表現し伝えようとする。</p> <p>○友達と考えを伝え合い、確かに理解し考えを深める。</p>	
	<p>F 検証方法</p> <p>○研究授業及び授業前後の研究協議での仮説の検証</p> <p>○児童のタブレットや学習ノート、学習前後の意識調査などで変容を見取る。</p>		
	<p>G 研究計画</p> <p>○子どもの実態、目指す姿、手立てを職員で考え確認する。</p> <p>○1学期授業研究</p> <p>○夏季休業中 授業構想・指導案作成</p> <p>○2学期授業研究</p> <p>○3学期授業研究</p> <p>○授業研究の振り返り</p>		